

ごっこのコーナー：1学期はお医者さんごっこを楽しむ姿がありました。他にも憧れている仕事になりきってみたいという思いがあるのではないかと感じ、子どもたちに尋ねてみると、初めに挙がったのは警察官！帽子や星形のバッジを作って身に付けると、「迷子のお友だちがいます」「探し物があります、ポケットを見せてください」となりきる子どもたち。また、歌手やアイドルになりたい！という子どもも多く、マイクやカチューシャを作って…「コンサートがあるので来てください！」「僕が咲かせる花〜♪」と歌やダンスを披露してくれました。他にも、ドレスに似合う冠を作ってお姫様になりきる女の子やバンダナやコック帽子を身に付けてお料理を振る舞うコックさんの姿もありました。最近ではお寿司屋さんやケーキ屋さんが開店し、美味しそうな商品が並び始めました。「いらっしゃいませ〜！メニューを見て注文してください」「サーモンつくください」「いちごの乗ったケーキがおすすです」「ありがとうございました。また来てください！」というように、売り手とお客さんのやり取りの中で、相手との関わり方や言葉の遣い方なども考えながら楽しんでいます。どの場面でも、アイデアを出したり、紙にデザインを描いたり、手先を器用に使って製作したりと大活躍の年長さんに成長を感じました。

バザーを経験して新たなアイデアが出てくるかもしれません。さらに発展するお店屋さんごっこを楽しんでいきたいと思えます。



ごっこのコーナー…年長児のAちゃんから「ごっこ遊びのグッズをいろいろ工夫してくれてありがとう。また作る時は呼んでね」というお手紙をもらいました。Aちゃんは以前からよくごっこ遊びを楽しんでおり、豊かな言葉の表現で友だちとやり取りし、年下の子に遊び方や役割を伝える姿も見られていました。変身グッズにも興味津々で、「わたしできるかららせて！」と製作したり文字を書いたり、簡単にできそうなことを考えて年下の子も参加できるようにしたりと活躍してくれています。「すごい！さすがだね。頼りになるよ。今日もありがとう。」と伝えてきたことで、必要とされている喜びを感じ、もっと役に立ちたいという意識も高まっていると感じられる出来事でした。

クッキングコーナー：9月に入り、ぶどうや畑のりんごなどの果実が色づき始め、食べ頃を迎えました。今年は大豊作で毎日子どもたちと収穫しました。そのまま食べることはもちろん、ジャムにしたり暑さの残る9月にはぶどうゼリーにして味わいました。ぶどうの皮むきやりんごを細かく切ることを通して手先を使う良い経験になりました。こすもす組やちゅうりっぷ組さんの子も「やってみたい！」と大きい子に教えてもらいながら良くお手伝いをしてくれました。また、出来た物をトレーに乗せて慎重に運んだり、「どうぞ！」と友だちや保育者に振る舞うことに意欲的になっています。「美味しかったよ」「ありがとう」と言われると嬉しそうなおもたの姿が沢山見られました。おつきみの会に向けてのお供え用の団子作りではだんだんとやわらかくなっていく過程に驚きの声をあげながら生地作りを楽しんだり、手のひらで優しく丁寧に丸めていました。お供え用のお団子を作ったことをきっかけにひとロサイズのお団子も作り、みんなで味わいました。今後も感謝の気持ちを伝えながら子ども同士のかかわりを見守っていききたいと思います。



クッキングのコーナー…9月に入り 園庭のりんごが色づき始め「畑のりんごが赤くなってきました」という当番活動のお知らせも良く耳にするようになりました。そんなある日、「先生本当にりんごが赤いよ」と教えに来てくれ、興味を持った数人の子と早速畑に行ってみました。赤いりんごを目の前にした子どもたちから「うわ〜！」という声があがりました。「甘いのかな、酸っぱいのかな」と問いかけると「味見したい！」という声があがり収穫して食べてみました。「酸っぱい！」という声が一斉に聞こえ、そのままでは食べられないということに気が付いた子どもたちの中から1学期に酸っぱい梅をジャムにした経験から「ジャムにしよう」という声がかれジャム作りが始まりました。年長児が中心となり砂糖のグラムを量ったり、芯や種、皮は包丁やピューラーで慎重に剥き子ども同士で協力して進める姿も見られました。出来上がったジャムは「いい匂いがする」と早速人気のジャムのせりリッツにして振る舞ったり、味わったりしました。今まで口にできなかった子も収穫し一緒に作ることで「みんなで作るとおいしいね」と食べてみようという意欲も出てきた様です。これからは子どもたちと五感を使って季節のクッキングを楽しんでいきたいです。

表現のコーナー：ふれあいひろばでは、毎日少しずつ覚えた新しいダンスをたくさんの方の前で踊ったり、ファミリーコンサートで「ワン・ツー」などのリズムをとってみんなで音を合わせ演奏をし、色々な表現活動を楽しみ経験しました。みんなで踊ったダンス『僕が咲かせる花』は明るく元気な曲調で子どもたちの大好きなダンスの1つになりました。みんなが笑顔になれる〜♪と歌詞の中にもあるように、練習の時から曲がかかると自然に笑顔になり身体を動かしていた子どもたち！ふれあいひろば後もコーナーだけでなく集まりの時などでも楽しく踊っています♪今では歌詞もすっかり覚え、歌も踊りも完璧です！

10月の終わりからは太陽の部屋の舞台上に平均台、マット、跳び箱を出し運動遊びにも挑戦しています。年長児が小さい子に、そして出来ない子に「準備体操でカエル跳びをいっぱいやるといいよ！」「手は前の方に着くと跳べるよ！」など丁寧にそして分かりやすく教えてあげる姿があり、年長児の頼もしい姿をたくさん目にするようになりました。これから寒くなっていきますが、室内でも身体を動かせる機会を作ったり、クリスマスに向けて「あつというまにクリスマス」のダンスや演奏も楽しんでいきたいです♪

表現のコーナー…ふれあいひろば後、長雨が続いたある日のこと。

ダンス好きの年中児の女の子たちが外でダンスが出来ない日が続く「先生〜ダンスやりたい！」と。ちょうど太陽の部屋の舞台が空いていたので「舞台で踊ろうか！」と音楽をかけるとたくさんの子が集まり踊り始めました。そのうちに「楽器の演奏もやりたい！」とお面をかぶり好きな楽器を手に持ち準備をしていると年長児の女の子が「ワンは太鼓ね！ツーはマラカスとカスタだよ！すずもツーにしようか！」と優しく教えてあげ、年中少児やこすもすさんたちもワン・ツーを意識し楽器紹介の「山の音楽家」からスタート！「ファミリーコンサートみたい」「楽しいね〜」といった会話も聞こえてきました。家族みんなで楽しんだ経験は子どもたちにとって素敵な思い出になっているのですね☆



自然のコーナー；沢山の虫に触れ合った夏が終わり、木の实や落ち葉がたくさん秋になりました。

自然のコーナーでは、洋種ヤマゴボウでの草花クッキングや絵を描く遊びが盛り上がりました。実をつぶすときれいな色がでることも遊びを通して学んでいます。また、赤・青・黄の絵の具の色水を足して混ぜると、色の変化に気づきます。そして、様々なジュースが完成！ジュース屋さんも楽しみました。

10月に入ると、どんぐり拾いや栗拾い、りんごの収穫、数珠玉取り、クルミ洗いなど、様々な秋の実を拾って洗いました。そして、みんなが拾った木の実や紫式部の実、ピラカンサスなどを使っての木の実のケーキ作りやどんぐりこま、ハロウィンのアレンジメントなどを楽しみました。小さな子も大きな子を真似しながら、作る姿も見られています。

また、畑の方では、夏野菜から冬野菜へと変わり、グループごとに種や苗を植えました。今、水やり当番さんを中心に草取り、畑作りなどをし、大事に育てています。

植物を育てる中で、やさしい気持ちを持ちつつ、「芽が出た！」「きれいになった！」と植物を見て触れて沢山の発見をし、学んでいます。子どもたちは遊びの中で大いに五感を使い様々な経験をし、創造力を膨らませ自然を楽しんでいます。引き続き、深まり行く秋を感じながら、冬への移り変わりの中でたくさんの発見、感動体験をしながら楽しんでいきたいと思えます。

自然のコーナー…今年もどんぐりやくるみ、くりなどの木の実がたくさん取れました。中でもくるみ洗いでは、毎日子どもたちがたわしを使い、洗ってくれています。子どもたちは木になっている姿を見えています。そして、水の中で腐らせている時には「色が変わってきてる」「ちょっと臭いにおいがする」などと発見し、実の回りの黒い筋をたわしでこする中で「端っこをきれいにするのが大変だよ」「黒いのが取れてきた」などと言いながら、きれいになることを体験しています。それは、自然がいっぱいの環境の中でこそ、体験、視覚、臭覚などを活用し、自然とのかかわりの中で、学んでいることであると感じています。これからは子ども達の発見を大切にしていきたいです。

